

令和 6 年 6 月 15 日現在

機関番号：62608

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K20638

研究課題名（和文）スペインにおける出版・読書ナショナリズムのデジタルヒストリー研究

研究課題名（英文）Digital Historical Research on Publishing and Reading Nationalisms in Spain

研究代表者

菊池 信彦（Kikuchi, Nobuhiko）

国文学研究資料館・研究部・准教授

研究者番号：00826373

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、スペインのカタルーニャ地方における本の日とサン・ジョルディの日という2つの祭の「接続」を通じて、スペインにおける国家/地域文化ナショナリズムを「接続的な」観点から検討し、既存の対立図式とは異なる新しい解釈を生み出すことを目指したものである。コロナ禍による研究活動の停滞があったものの、本研究遂行の結果、スペイン第二共和政期においては、空間的にも、当時の新聞記事テキストマイニングの観点からも、2つの祭は「接続」はせず、別々の祭として行われていたことが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、スペイン・カタルーニャ地方におけるサン・ジョルディの日と本の日という2つの祭を通じて、排外主義・画一的なナショナリズムの融和がどのようになしているのか、その実態を示すことを目的としたものである。

本研究期間中の成果は、2つの祭が同日に開催された当初は「接続」していなかったことを示すものであったが、2つの祭の「接続」を開始当初からのものと捉える先行研究を批判することができた。今後、現代まで対象に本研究を継続していくことで、現代のナショナリズムに対する新たな見方を示すことが見込まれる。

研究成果の概要（英文）：This research aims to examine the national/regional cultural nationalism of Catalonia and Spain from a "connective" perspective through the "connection" of two festivals: the Book Day and Sant Jordi's Day. By doing so, it seeks to generate a new interpretation different from the existing conflict paradigms.

Despite the obstacles to research activities due to the COVID-19 pandemic, it was revealed that during the Spanish Second Republic, the two festivals were held separately without "connection," both spatially and from the perspective of text mining newspaper articles.

研究分野：西洋近現代史を対象にしたデジタルヒストリー研究

キーワード：スペイン現代史 第二共和政 サン・ジョルディの日 本の日 出版文化史 ナショナリズム デジタルヒストリー デジタルヒューマニティーズ

## 1. 研究開始当初の背景

本研究課題「スペインにおける出版・読書ナショナリズムのデジタルヒストリー研究」の開始当初の背景には、近現代スペイン史におけるテーゼ、すなわちカタルーニャの地域ナショナリズムとスペインの国家ナショナリズムとの相克を指摘できる。すなわち、スペインのマドリードを中心とする国家ナショナリズムは、カタルーニャをも含めた国民国家を志向するのに対して、カタルーニャ地方はこのスペインナショナリズムに抗い、独立運動としても表現されるカタルーニャ独自のナショナリズムを目指した。この国家と地域という2つの次元のナショナリズムの対立こそが、近現代スペイン史を貫くテーゼである。

ところで、カタルーニャの守護聖人の祭として例年4月23日に開催されるサン・ジョルディの日(Diada de Sant Jordi)の祭は、カタルーニャナショナリズムの発露の日として知られている。同時にこの日は、1931年以降、スペイン文学を代表するセルバンテスを顕彰する本の日(Día del Libro)の祭も開催されるようになった(なお、本の日自体は1926年に成立していたが、当初はセルバンテス生誕の日とされた10月7日に設定されていた)。すなわち、スペインの国家ナショナリズムを表象する本の日と、カタルーニャナショナリズムを表すサン・ジョルディの日が、同じ4月23日に開催され、それが互いに対立することなく、今日もなお存続しているのである。ここに、スペイン近現代史を貫くテーゼのほころびを見出すことができる。

## 2. 研究の目的

それではなぜ前項の2つの祭は、争うことなく同じ日に開催されているのだろうか?なぜサン・ジョルディの日を、サン・ジョルディ伝説を表象するバラだけでなく、本の日とも認識し、2つの祭の要素が結びついているのか?本研究の問いは、そのような素朴な疑問ではある。しかし、その問いに答えることは、前項で示したスペイン近現代史のテーゼに対する異議申し立てであると同時に、排外主義・画一的なナショナリズムが融和する実例を示すことにもつながる。そのことは、極右の台頭が示すような現代のナショナリズムに対する新たな見方を示すものであり、本研究の目的はその点にある。

## 3. 研究の方法

上記の研究背景および目的に答えるため、まずは、本の日の運営母体である図書商業組合等のアーカイブズ史料やカタルーニャ州政府関係史料等の一次史料を読み解くことで、祭の実態把握や当時の祭に対する意識の析出を行った。

次に、本研究の特徴であるデジタルヒストリー(デジタルヒューマニティーズ)を方法として採用し、祭の「接続」の実態解明も目指した。

具体的方法の1つ目は、デジタルアーカイブ“Archivo Digital de la Diada de Sant Jordi y del Día del Libro”の構築である(図1)。史料の収集とともに、その史料を整理し、アクセスしやすくするために開設した。

2つ目の方法が、サン・ジョルディの日と本の日という2つの祭がどのように「接続」していったのか、すなわち2つの祭がバルセロナのどこでどのように行われ、そしてそれがどのように変化していったのかを、新聞記事のテキストマイニングを中心に検証するというものであった。具体的には、テキストマイニングでは、サン・ジョルディの日と本の日それぞれの祭を象徴する単語が、記事内でどのように共起していたのか、それは年を経てどのように変化していったのかを検討するものであった。

3つ目の方法は、新聞記事内で2つの祭について、バルセロナのどこで行われていたのか、その空間を地図上にプロットすることで、祭の位置関係の検討も行うという手法を採用した。

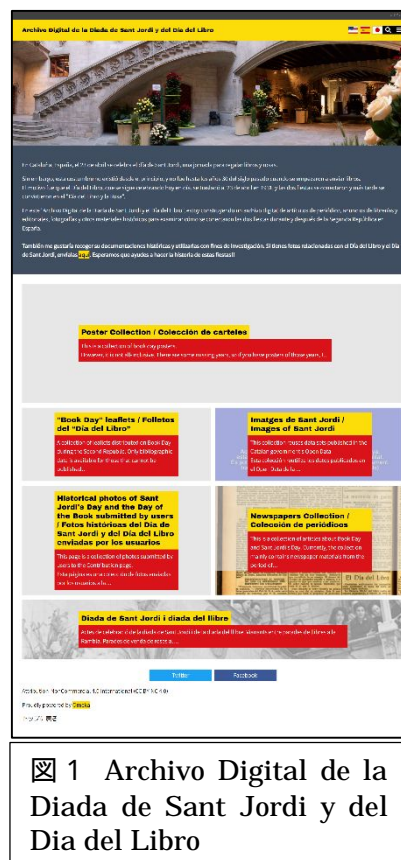


図1 Archivo Digital de la Diada de Sant Jordi y del Día del Libro

## 4. 研究成果

史料読解および新聞記事のテキストマイニングと空間史分析を行った結果、スペイン第二共和政期(1931-1936年)においては、サン・ジョルディの日と本の日との2つの祭は「接続」しておらず、別々の祭として行われていたということが明らかになった。このことから、2つの祭の

「接続」時期を、内戦以降のものとして考えることができると同時に、1931年開始当初から2つの祭を「接続」していたものとする先行研究を否定することができた。

しかし、研究開始当初は、第二共和政から現代までを対象として、上記研究方法を適用する予定であったが、コロナ禍による史料調査の難航に加え、特に著作権保護期間内の新聞史料収集の難しさ、データセットとしての入手の困難さから、内戦以降を対象にした研究は予定した通りには進捗しなかった。しかし、そのなかにあっても、アーカイブズを中心史料とともに、特に La Vanguardia というカタルーニャの主要新聞に関しては現代まで入手できたことから、次の研究につなげる素地を作ることができた。

以上

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 菊池信彦	4. 巻 2019
2. 論文標題 スペイン第二共和政期（1931-1936）における本の日とサン・ジョルディの日の「接続」の分析：新聞記事テキストマイニングを手法として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 じんもんこん2019論文集	6. 最初と最後の頁 145-150
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 菊池信彦	4. 巻 2022
2. 論文標題 スペイン第二共和政期バルセロナにおける本の日とサン・ジョルディの日の空間史的分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 じんもんこん2022論文集	6. 最初と最後の頁 159-164
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 菊池信彦	4. 巻 2019-CH-119
2. 論文標題 本の日&サン・ジョルディの日デジタルアーカイブの構想 祭の「接続」の解明に向けて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ（CH）	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 菊池信彦
2. 発表標題 第二共和政期バルセロナにおける本の日とサン・ジョルディの日の「接続」 特に空間史的分析を中心に
3. 学会等名 日本出版学会2022年度秋季研究発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菊池信彦
2. 発表標題 スペイン第二共和政期バルセロナにおける本の日とサン・ジョルディの日の空間史的分析
3. 学会等名 じんもんこん2022
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菊池信彦
2. 発表標題 スペイン第二共和政期（1931-1936）における本の日とサン・ジョルディの日の「接続」の分析：新聞記事テキストマイニングを手法として
3. 学会等名 じんもんこん2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菊池信彦
2. 発表標題 スペイン第二共和政期における「本の日」と「サン・ジョルディの日」の「接続」の分析 デジタルヒストリーの観点から
3. 学会等名 第69回日本西洋史学会大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 人間文化研究機構国文学研究資料館	4. 発行年 2022年
2. 出版社 人間文化研究機構国文学研究資料館	5. 総ページ数 63
3. 書名 創立50周年記念展示 こくぶんけん 推し の一冊	

〔産業財産権〕

〔その他〕

Archivo Digital de la Diada de Sant Jordi...  
<https://projectsantjordi.net/da/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------